

提案団体名：株式会社ラック

○提案内容

<p>(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙2の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください</p>	
技術の概要・実績等	技術の分野
<p>ものづくり/IoTの総合検証タウンの実現 自動運転・自動走行・ドローン・スマートシティに関わる各種サービス、監視カメラや医療に関わる各種デバイス等、インターネットに接続される機器やデータが膨大に増えていく中、全ての「製品の安全性」を実環境に近い条件で検証を行うことが困難になってきています。これは「サイバーセキュリティ」に限らず「セーフティ」のための検証技術・異常事象(不正アクセス等)の発生技術、そしてそれらから得られるデータの管理、検証環境の提供・検証の安全な実施管理等、多岐にわたる要素が重要です。</p> <p>弊社では日本国内での20年以上におよぶセキュリティ事業の実績から、更に各事業社様、自治体(旭川市)に協力を仰ぎ、街全体での検証事業化(有人タウン・無人タウンの両面)の企画を推進しています。</p>	(6)
<p>(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ ※課題については、別紙2の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください</p>	
解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>地域創生と「安全のための」技術開発の融合 ①実際の生活環境における検証を春夏秋冬を通じ行うことができ、新たな技術の開発につながります。 ②検証のために、各事業者や研究機関が集まってくることで、「検証事業」による地域創生が実現できます。 ③「検証の街」の運営のための各業務に地域事業者や住民が参加することによる地域活性・雇用創出につながります。 ④検証成果と地域の環境事業との融合による、新たな地域創生の企画(完全自動化の観光地や、キャッシュレスタウンの実現、あるいは海外メディアからも利用される撮影拠点等)につながります。</p>	(オ)(ケ)
<p>(3) その他 ・春夏秋冬、冬の極寒・降雪環境、台風の影響と検証の融合。 ・サイバーセキュリティ面での攻撃設備の構築・維持。 ・人と物流の効率性・安定性。 上記観点から、旭川市を中心に企画を協議させていただいております。</p>	

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
新規事業開発部	又江原恭彦	03-6757-0100(代表) 080-5927-0262(携帯)	yasuhiko.mataebara@lac.co.jp